

# 遠かった、全道初勝利

## 第30回記念全道女子バレーボール大会

7月24日から26日に、札幌市美香保体育館で、全道バレー大会が開催された。石狩地本からは、参加3年目の札幌市労、初出場の石狩市職労の2チームが参加した。

開会式では、石狩の松木主将が、「記念の大会に出場できることに感謝し、チーム一丸となって最後まで全力でたたかう」と、力強く宣誓。

初陣、石狩市職労は、二人のエースを、勤務とケガで欠き苦しめたたかいを強いられた。初戦、別海町職、二戦目、滝川市職労と対戦するも、自分たちの試合をさせてもらうことができなかった。しかし、この経験を、来年に



生かしてもらいたい。

一年目より、二年目。そして三年目の今年、初セット、初勝利をめざした札幌市労は、初戦、強豪苫小牧市職労と対戦、善戦するも力の差は大きく、ストレートで敗退。決勝トーナメントをかけた、浦河町職とのたたかいでは、9人制バレーの醍醐味、ボールをひろって、つないでの応

酬により、大接戦となった。3年目にして念願の「1セット」をもぎ取り、1勝まであと一步と迫った市労チーム



ではあったが、試合の流れを決める大事なところでポイントを奪われ、初勝利は来年へと持ち越しとなった。

単なるスポーツ大会としてだけでなく、職員間の絆を深める大会として、今後も2チームには奮闘を願いたい。また、他の単組も、女性職員の交流の場の一つとして、参加をしようか。



効果はさておき…

## エコ生活を考えよう

8/4・5・6「やってみよういしかり2008」

地本自治研「温暖化検討グループ」では、これまでの検討の実践として、テレビ等家電のコンセントを6時間以上抜き、待機電力の節電をする取り組みを、地本組合員へ呼びかけ、その実践日として8/4・5・6を設定しました。

結果として、25の単組から3日間で、221件の応答がありました。

8月18日温暖化検討グループ会議を開催し、今回の結果について総括したところ、「周知が足りなかった」「効果に対する疑問があった」「時期が悪かった」「節電に対する意識が、まだ浸透していない」など反省しきりとなりました。

今回の結果だけ見れば、節電効果は微々たるもの(約7円ほど…)とはなりましたが、効果よりもまずは、行動を起こしたことをよしとして、これを機会に「エコ生活への一歩」となれば、さらには、今後の取り組みにむけ検討を継続していくこととしました。

参加くださいました、単組・組合員のみなさん、ご協力、ありがとうございました。

## ●書記局から●

まだまだ暑い日が続いているが、朝夕の風はもう秋を感じさせる。北海道の夏はやはり短い。北京オリンピックが原因のひとつか、人事院報告が、異例の日程変更。前代未聞の出来事だ。「内容まで変わったら」なんて話をしてきたが、そこまで、異例の事態にはならなくて、当然のことながら安心してしまったのは、近年何が起こっても不思議でないことに、慣らされてしまっているのか、勧告が、賃金改善に直結していない近年の状況からかも…。人勧は、人勧、自治体の賃金は、当初予算で「財政が厳しいから」「住民感情が…」と言って、引き下げが続いている。何かいい話はないかと、探すが、「金メダル獲得」みたいな景気のいい話は、自治体職場に見当たらない。いつまで、この状態が続くのか。組合員・役員の我慢はいつまで続くのか。